



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2020年7月会報 第379号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) ジェニファー・ジョーンズ(オーストラリア)

主 題 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

標 語 さあ動こう On the Move !!

アジア太平洋地域会長(AP) 田中博之(東京多摩みなみ)

主 題 アクション! Action!

標 語 誇りと喜びを持って With Pride and Pleasure

西日本区理事(RD) 古田裕和(京都トウビー)

主 題 Let's do it now!

副 題 "2022 に向け誇りを持って All is well."

六甲部長 安行英文(さんだ)

主 題 行動に信念を、信念は行動に Believe in what you do. Do what you believe in.

宝塚クラブ会長

主 題 ポジティブに考え、ポジティブに生きる Think and live, positive.

今月のテーマ: **キックオフ**

ポジティブに考え、ポジティブに生きる

Think and live, positive.

若林 成幸 宝塚クラブ 会長

日 時 : 2020年7月8日(水)18:30

場 所 : 宝塚市西公民館

会 費 : 1300円

ドライバー 長尾 亘 谷川 尚

開会点鐘 多胡葉子直前会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読 小林康男

祈 禱 長尾 亘

ゲスト・ビジター紹介 多胡葉子直前会長

役員交代式

入会式 郡家 学 氏

六甲部部長訪問 安行英文ワイズ

会 食

総 会

1) 新年度活動方針

2) 決算報告 3) 予算審議

YMCA 報告

誕生日のお祝い クラブ会長

ニコニコファン

閉会点鐘 若林成幸会長

2020~2021

役 員

会長 若林 成幸 直前会長 多胡 葉子
副会長 福田 宏子
書記 武田 寿子
会計 小林 康男 堀江 裕一
会計監査 加藤 光信 吉田 明
連絡主事 谷川 尚
メネット連絡 福田素子 今田 和子
六甲部地域奉仕・環境 多胡 葉子

誕生日

該当者なし

6

月

実

績

例会出席者数 19 名
在籍会員数 21 名
出席会員数 17 名
出席率 81.0%
メイクアップ(内数) 1名
メネット 1名
コメント・孫メット 0名、
ゲスト・ビジター 1 名
例会充足率 90.5%

BFポイント 6月 0 円
累 計 25,716 円
にこにこBOX 6月 9,000 円
累 計 54,000 円
ファン(物品販売) 5,000 円
累 計 37,300 円

聖句

医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。

(マルコ福音書2:17)

随想

レビは弟子とされた喜びに溢れ、イエスを自宅に招いて歓迎会を催しました。同僚にもイエスを紹介したいと思ってたくさん仲間も呼びました。その喜び溢れる交わりに水を差したのが、聖書を専門的に学び実践するファリサイ派の律法学者でした。対応に出た弟子たちに「どうして彼は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」と声を荒げる律法学者の声を聞いてイエスが腰を上げ、玄関に出てきて律法学者に言ったのが上記の「聖句」です。

この言葉は、聞きようによれば律法学者を納得させるものとなります。「私が罪人らと関わっているのは、彼らを私たちと同じレベルの信仰に引き上げて律法を守らせるためである」。そう受け止めるなら、律法学者はイエスのことを「なかなか見上げたものだ。ようやっちゃる！」と評価することになります。そして事実、律法学者はそう理解してこの場を去ったのだらうと思います。

しかし、私はイエスの言葉をそう受けとめていません。律法学者に皮肉を言ったのです。「レビを罪人呼ばわりするあなたは何者か。『レビと私と一緒にしないでくれ』。そんな思いが心の中にないか。それは神から見て正しい心の在り方なのか。レビが出会いの喜びにあることも分からず、レビを攻撃するあなたこそ心が病んでいるのではないか。自分はまともであると思っているあなたこそ病気ののだ。病気であるという自覚症状もない末期的な状態なのだ!」。自分が正しいと思っているところに、罪が生じるのではありませんか。その意味で、神に一番近いところこそ罪のありようが顕われます。光に近付けば近付くほど、背後の影が鮮明に浮かぶようにです。

レビが主の招きに喜んでいるのを受け止められず、高みから人を批判し、人を蹴倒して自分の正当性を確認するようなどしようもない自分の惨めさに気づくように。実はイエスはレビを弟子に招いているようでいて、ファリサイ派の律法学者をも招いていました。イエスは「私も喜びの渦の中に入れてくれないか」という彼からの答えを待っていたのです。しかし、イエスの言葉を誤解したまま去って行く律法学者の後ろ姿を、イエスはどう見たか。

そして、そのまなざしが今、私たちに注がれている。私はそんな思いを持ちながら聖書を開いています。

宝塚に住民票を移して1年半弱。まだ右左何も分からない者ですが、共に「聖句」を開けることを感謝します。どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍から守られますように。

浦上 結慈

新年度会長挨拶

ポジティブに考え、ポジティブに生きる

会長 若林成幸

前代未聞のコロナ禍、3 ヶ月間もの外出自粛を持てあまして、コロナ後の人生を考えていました。アフターコロナの地球は、社会はどのように代わってゆくのでしょうか？ それを占うのに気になる数字「2030 年」があります。

最近、よく見聞きする「SDGs」をご存じでしょうか？ “Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標”とは、グローバル化による経済成長の恩恵から取り残された地域での極端な貧困や経済格差などの問題を解決しなければ、世界の持続可能な成長の実現は不可能であるとの認識で、国連が定めた地球レベルで達成すべき 17 のゴールと 169 のターゲットのことで、その達成目標は 2030 年としています。いみじくも新型コロナが世界を襲い、格差社会の病巣をさらけ出してしまいました。私は、こんな難しいことは、政府や大企業や若い者に任せ、年寄りには追従すだけでよいと、見て見ぬ振りをしてきましたが、ワイズ理事の活動計画も掲げられていることもあって学び直さなければならないと思うようになりました。



また、ある新聞のコラムで知ったのですが、京大の地震学者 鎌田浩毅先生は「かつて、関西には大地震は来ないと多くの人が信じていたが、1995 年に阪神・淡路大震災が起きてしまった。」「この時から西日本は直下型地震の活動期に入ったのだが、次に準備すべきは南海トラフ巨大地震だ」「古地震やシミュレーション結果を総合判断して 2035 年±5 年ころに東日本大震災より一桁大きい地震が起きる」と注意を喚起しています。なんでも直下型地震を予知することはできないが、南海トラフ地震は科学的にも予測が可能な唯一の地震だそう。天災は忘れた頃にやって来るは昔の台詞、正しく恐れる知恵が求められている。

コロナ後のワイズ活動はどのような展開になるか見通しはできません。予防薬や治療薬が普及しない限り感染拡大防止が叫ばれ、風評被害の心配もあってイベントや交流を控えるなど、活動の萎縮傾向が続くことでしょう。そこで「今は学びのとき」と割り切って地味な活動を提案したいと思います。

私は当年 79 才、元気で動ける間に孫世代と共有できるような価値ある何かを探したいと思います。TV で、ある思想家が「日本は世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎える。遅れて高齢化が進む世界に向けて「高齢者の生きざま」を発信することこそ日本の責務」と言い切っていました。

折しも新しい例会会場となった公民館を上手く使い、「新しいワイズライフ」の演出です。皆さんと知恵を出し合いポジティブに考え、ポジティブに生きてみたいと思います。

1年間のサポートを感謝

直前会長 多胡葉子

一年の歩みは本当に早い。 主題を「ときめきライフをワイズで」としてスタートした。
長年例会場として親しんで来た宝塚ホテルから新しい会場への移行を年度内にすることが
今期の大きな課題であった。しかし、思いも掛けない Covid-19 のためにより大きな課題が
与えられた。STAY HOME の自粛生活は全て私たちの生活様式に変化をもたらすことになった。

オンラインワーク、オンライン授業など次々と生活様式の変化がもたらされてきた。
宝塚ワイズの活動も LINE ビデオ、ZOOM を使いつながりが可能となった。
5月の第二例会は ZOOM で開催、6月の今期最後の第一例会は久しぶりに対面式で西公民館で開催でき、
出席できなかった方も家でオンラインで参加という新しい形式での例会開催となった。
どのような変化が起ころうとも私たちワイズのメンバーは知恵を出し合い、人と人が関わりながら頭を使い、今
の変化を理解していくことができる素晴らしい集まりであると改めて感じた。
まさにときめきライフが困難な中にも実践できたことに感謝。

こども弁当への支援

FACE BOOK に掲載されていた「宝塚こども応援プロジェクトこども弁当のための支援」
のチラシが目にとまり、関係者の方に連絡。STAY HOME の間にも宝塚ワイズとして地域でできる活動とし
て支援を申し出た。ワイズメネット事業として取り組んできた活動にもつながるもの
であった。学校給食がない間お昼ご飯がきちんと食べられない子供たちのために立ち上げられたプロジェクト。
子ども達へは100円でお弁当が手元に渡る。

6月26日、西日本区から今期の表彰状・ワッペンが送られてきました。嬉しいお知らせです。

表彰は次の4つです。

- | | |
|-----------|------------------|
| ・国際・交流事業 | B F 優秀クラブ賞 |
| ・国際・交流事業 | STEP 事業優秀賞 |
| ・国際・交流事業 | B F 100%達成賞 |
| ・Y・サユース事業 | Y・サユース100%達成クラブ賞 |



6 月第1例会報告

6 月 10 日(水)午後 2 時から 6 月第 1 例会が宝塚市西公民館で開かれた。世界を襲った新型コロナの感染拡大防止のため 3 月から外出自粛が叫ばれ、全ての会合や活動が中止の憂き目に遭った。当クラブも 3 月から 3 回連続して例会を中止し、Online 会合に挑戦しつつ、5 月下旬、ようやくにして公民館が再開し、3 密回避・ソーシャルディスタンス・窓開放・マスク着用・手指消毒などの予防処置が義務付けられた中で、おそろの会合となった。夜の会合を避け昼間の開催とし、参加できない方には Zoom 配信による新たなスタイルを準備した。



出席者はメン 15 名、メネット 1 名、ゲスト 1 名 Zoom 参加者 1 名 計 18 名、会合のテーマは 2019 年度の実績報告と評価だった。初めに多胡会長の実績報告があり、その後各委員長から報告が行われた。コロナの影響を受けプログラムの多くが完遂できなかったことは残念であったが、各報告を通じて長いコロナ空白期間に忘却しかけていた活動の記憶がよみがえったひとときでもあった。会計の決算見込が報告されたのを受け、コロナ禍、大きな経営課題を背負った神戸 YMCA から支援要請「ポジティブネット献金」について協議した。六甲部に求められた総額 400 万円に対し、宝塚クラブは 60 万円を拠出すること、各人が自主的に判断して 1 口 1 万円の献金を 6 月中に行うことを了承した。さらに西日本区理事の「新型コロナ基金」設立案が提案されていることがわかり、対応について若干の意見交換をしたが、基金の具体化を待つて次月に協議するにした。

若林成幸

6 月第2例会報告

6 月 17 日(水)午後 6 時 30 分から西公民館にて第 2 例会を行い、13 名が出席した。議事要旨は次の通り。

1. 7 月第 1 例会(キックオフ)の運営

- ・7 月 8 日(水)18:30、西公民館セミナー室、お弁当(夏鈴)、会費:1,300 円
- ・役員引継ぎ式、入会式、六甲部長公式訪問、会長方針・各委員長の活動計画・予算審議など
- ・進行は、長尾・谷川メン
- ・ゲスト予定 安行六甲部長・水野 EMC 主査・大野次期アジア会長

2. 次年度計画立案にあたり、

- ①コロナ禍(諸会合・イベントの中止・休会)での月例会やブリテン編集の問題点・課題を話し合った。
- ②次年度会費の S&C 会計による 10%減額(案)を協議し、ファンド原資の将来性を考慮し、現行のまま年会費 40,000 円を踏襲することとした。

3. 会員異動について

6月30日 西川勝久メンの退会、7月8日 郡家 学氏の入会を承認した。

4. ポジティブネット献金の最新情報

・各クラブからの申し出のあった献金総額が六甲部の目標額 400 万円を達成したことが報告された。

5. ブリテン編集

・長尾メンから7月ブリテン編集方針が示され寄稿分担を確認した。

・「今月の聖書」欄の執筆者に宝塚教会 浦上牧師が加わり、金田牧師と隔月交代で執筆をお願いする。
また、執筆者に年1万円の謝礼を行うことを了承した。

6. その他

・高齢のご苦労さん会、納涼例会は自粛する。

書 記 若林成幸

西日本区理事引継式

ZOOM 会議室

司会進行 河口裕亮 書記



第23期引継式 開会宣言点鐘 ワイズソング

第23期理事挨拶 戸所岩雄理事



第23期理事次期理事挨拶 古田裕和 次期理事



インフォメーション（報告）

新クラブ

IBCトライアングル

奈良傳賞受賞者発表

戸所岩雄 理事

六甲部、神戸クラブ 大塚章信ワイズ受賞

おめでとうございます！

理事・役員引継式 開式 河川裕亮書記・林宏一理事事務局長

理事引継ぎ

立会人;森田恵三 元理事



三役引継

引継（パワーポイント）

主任・部長引継



六甲部部長
安行英文（さんだ）



理事事務局長引継



リジョンフラッグ・ホームクラブフラッグ引継



所信表明演説 古田裕和



第 24 期理事元理事バッチ贈呈
立会人;森田恵三 元理事



退任監事への感謝の言葉

理事・役員引継式 閉会

緊急告知

河口裕亮書記・林 宏一理事事務局長

戸所岩雄 新型コロナ対策特別委員長



第 23 期引継式 閉会宣言点鐘

古田裕和第 24 期理事



今、日本では「新しい生活様式」として、距離、マスクエチケット、手指洗い、消毒、ビニールマットと、いかに過去と同じ生活を担保できるように近づけるための手段をとるように伝えられています。しかし、コロナ禍で、特に2か月間のステイホームを通じて、家庭、友人、職場、自分を取り巻く社会とのつながりへの価値観が大きな変化をしています。それは人々の生き方や行動にも大きな変化を与える、「価値の変化」であると思います。

YMCAでは新しい「つながり」を作り出そうと模索を行いつつありますが、それはもちろん、YMCAにかかわる会員、ワイズ、メンバーとの相互関係から生まれてくるものです。ガイドラインやマニュアルでは守れないものをどう守っていくかが問われていると感じています。

イベント、活動には制約がかかっていますが、まずは弱められているところ、必要としているところからの活動を始めています。そしてそのためのYMCAポジティブネット募金「はなれていてもつながっている」へのご理解ご支援、感謝します。こうした経済的不安が高い中での支援はハードルの高いものでありながらも、六甲部全体で400万円の支援は、目の前だけにとらわれない変革を期待されている皆さんの思いであると、責任を強く感じています。

神戸YMCAは夏までのすべての行事・キャンプをいったん取りやめたり、まだウェルネスでは通常の半分以下のメンバーしか帰ってこない状況ではありつつも、「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。」(ローマの信徒への手紙)の御言葉どおりになることを信じ歩んでまいります。

(宝塚クラブ銀行口座)

銀行名 三菱 UFJ 銀行宝塚中山支店
 口座番号 普通預金 4585836
 口座名 宝塚ワイズメンズクラブ
 (会計 小林康男)

2020-2021 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

事業委員		(委員長)		
	Yサ・ユース	福田 宏子	武田 寿子	
	地域・環境	多胡 葉子	風早 寿郎	青柳美知子
	EMC	鯖尻 佳子	若林 成幸	
	広報・プリテン	長尾 亘	福家 清美	重松 えみり
	交流・ファンド	石田由美子	杉谷 和代	
特別		(委員長)		
事業委員	NGO 連絡協議会	鯖尻 佳子	福家 清美	堀江 裕一
	じゃがいも	小林 康男	吉田 明	風早寿郎
	市民クリスマス	多胡 葉子	長尾 亘	石田由美子
	〃		若林 成幸	